

# 六郷

## ～元気に輝いて～



令和5年度  
第18号  
2023. 6. 23

### 子どもたちの経験を深める、外部講師から教わる体験活動⑤

#### 【4年『水の森』植樹事業への参加】(講師：仙北東森林組合職員の方々)



21日に行われた町の事業(2023七滝「水の森」植樹事業)には、町内の4年生が参加しました。この事業は、14年前から継続して行われている行事です。

花壇とは違い「山」での植樹とあって、堅い土を掘ることに苦労していた4年生でしたが、将来、この植樹した木々が水源の森として機能してくれることを願いながら、ていねいに作業することができました。

社会科で「水はどこから」という勉強をしている4年生の子どもたちにとって、地元の水源の森である七滝山に植樹ができたことは、貴重な経験となりました。今回の経験を生かして、ふるさと六郷の環境の素晴らしさを再確認するとともに、水資源を保全することの大切さに気付き、実践できるようになってほしいものです。



#### 【6年「埋蔵文化財センターでの歴史学習」】(講師：埋蔵文化財センターの職員の方々)

21日に6年生は、大仙市の県埋蔵文化財センターに出向いて、石器時代や縄文時代の暮らしについての歴史学習を行いました。この内容を学校で授業すると、資料集やビデオを利用しての学習となるのですが、埋蔵文化財センターでの学習では、石器や土器の実物を手に持ったり、縄文土器の特徴である編み目の文様付けに挑戦したりと、教室では体験することができない活動を行うことができます。さらに、石器や土器の実物は県内から出土したものとあって、子どもたちの興味関心は一層高まりました。



また、その他にもセンター内に展示している様々な出土品について解説していただいたり、「払田の柵」跡に出向いてその歴史的な価値を教わったりと、地域にある貴重な歴史遺産について、たっぷり学ぶことができました。

見所満載の県埋蔵文化財センター。夏休み等に、ご家族で訪れてみるのはいかがでしょうか。

